広報 ひので台

発行者
第102施設大隊
文責 第1係

ひので台は
あなたのための
便りです。
編集部

駐とん地

桜の花もいつしか散り果て木の芽も一段と青さを増してきているが五月は雪解けと共に活気を呈した。今駐とん地は挙げて同志獲得のためこれを「友朋作戦」と名付けて頑張っている。諸官一人一人も部隊の次代をになう若桜の獲得に尽力されんことを願います。

五月二日から六日の四泊五日の日程で市内駒沢高校生徒十六名が生活体験を実施し駐とん地剣道部との交歓練習会、陶芸講習、記念撮影等盛沢山の行事を消化し意義ある体験を得たと感想を述べ離隊しました。

四月五月の同志獲得者
増川二曹二名、城岡二尉、大宮三曹、榎三曹、工藤二曹、小林一曹、坂上二曹、結城三曹各一名で計九名となります。

六月月間目標
服務規律事故防止月間

大隊

五月十四日未明〇二〇〇群長の指導のもとに大隊をあげて総出訓練を実施した。これは出動に準じて呼集から実施し演習場に指揮所を設けて駐とん地との往来を遮断するという厳しい条件の下に行なわれた。

孫別演習場に宿営した各中隊はそれぞれの任務に技能と創意を凝らして演習場内の幹線道路をMSRに見立て、その補修に任じた。

これにより演習場の要修理ケ所は完全に修復され、訓練最盛期を迎えて再び施設魂練磨の場として機能を充分に果すことであろう。

折からの強い風雨にも負けず宿営した大隊の健児は大隊長要望「弱音を吐かずやり通せ」に応えて、全任務を完了し無事に終った。

4.22 大隊銃剣道大会の成績
二中、一中、三中、本管の順
4.26 群銃剣道大会は本管が四位に入った他善戦空しく敗れる。じ後の努力が望まれる。

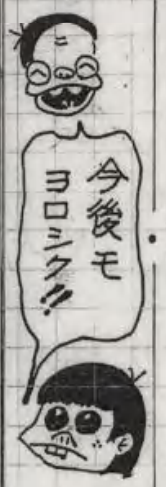
任期満了退職者

4.2 二中 士長 伊藤秋夫
三中 同 木津光夫
4.26 一中 同 茨木時夫
同 同 新美謹也
同 同 平嶋繁美
4.29 同 同 石井良一
5.27 同 同 太田守

「長期にわたる勤務、本当に御苦労様でした、これからも元気で頑張って下さい。」

◎四月以降の賞状賞詞受彰者

4.15 四級賞状 本管中、一中
四十八年度隊務優秀
4.9 三級賞詞
大本 城岡二尉 募集
本管 丸山三曹 同
同 大宮三曹 同
一中 工藤二曹 同
三中 榎三曹 同
4.15 四級賞詞
本管 伊嶋二曹 職務
同 堀田二曹 同
同 浦田二曹 同
同 和田二曹 同
一中 佐藤(香)二曹 同
同 川崎士長 車両
5.27 四級賞詞
本管 福江二曹 募集
5.27 五級賞詞
一中 大竹三曹 募集
同 石垣士長 車両



「大隊長巻頭言」

大隊長が着任以来毎日の様に口にしている言葉、それは「活私奉公」です。自分の持てる能力をひき出して、それを育て「個人の充実」「個人の幸せ」を求めそれを一歩一歩獲得する事が結局は中隊のため大隊のためになる筈思うからです。「個人の幸せ」なくしてどこに中隊の発展があり得ようか。

!!お知らせ!!

○七月一日昇任を目指し陸曹二次試験に一曹へ二曹へ各十四名が努力中
○四十六期陸候指定試験終る
○技術陸曹試験終る
○五十六期一般幹候一次試験六月二十四日
○新孫別道二期工事五月二十三日から七月下旬まで三中隊細川三尉以下十九名参加中
○七月十日から十二日まで年次監察
○八月二四～二五、駐とん地三十一周年記念行事
◎この広報は今回から毎期一回発刊します

中隊便り